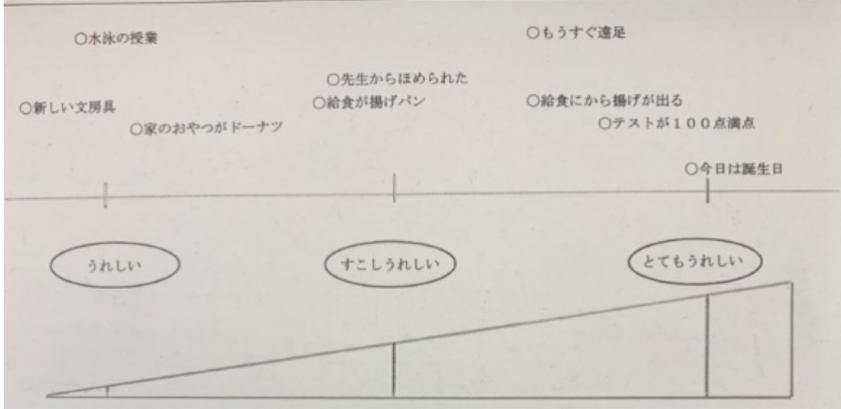


大項目	人間関係の形成②他者の意図や感情の理解
小項目	感情の理解
タイトル (教材名)	感情のバロメーター
目的 身につけてほしい力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の感情について見て理解することができる。</li> <li>・他者の感情について考えることができる。</li> <li>・自分と他者の気持ちは、同じことや違うことがあることを知るきっかけにできる。</li> </ul>
教材の概要  材料 作り方 工夫点など  画像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感情の程度を視覚化して、見てわかる。</li> <li>・感情を視覚化・数値化して理解する力を身につける。</li> </ul> <p>&lt;うれしい&gt;&lt;すこしうれしい&gt;&lt;とてもうれしい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者が感じる気持ちにもいろいろな段階があることを知る。</li> </ul> 
教材の使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒自身の&lt;うれしい&gt;と感じる事例をあげていく。</li> <li>・&lt;うれしい&gt;の程度が測定できる気持ちのものさしを数値上に置かせる。&lt;うれしい&gt;&lt;すこしうれしい&gt;&lt;とてもうれしい&gt;など</li> <li>・友だちがうれしいと感じることについて考える。 「〇〇さんがうれしいときはどんな時かな？」など 自分のうれしいこととくらべる。 感情のものさしのように数値化しているものを使うと理解しやすい。</li> <li>・自分と友だち（他者）の気持ちの程度は、同じ時や違うこともあることを知る。</li> </ul>
その他	<参考文献>長崎自立活動研究会

